

平成 28 年 11 月 22 日参議院文教科学委員会議事録

○松沢成文君 無所属クラブの松沢成文でございます。

私は、この委員会で取り上げておりますオリンピックの会場問題、引き続き質問をしていきたいと思っております。

まず、ゴルフ場の会場問題についてであります。

実は、私、丸川大臣にも予算委員会でも関連の質問をさせていただきました。やはり、オリンピックをやるには、その後、全ての皆さんがプレーできる、ある意味でレガシーに残る施設でやるべきだと。そういう意味では、プライベートの会員制のゴルフ場は好ましくない、会員中心にしか運営しませんから。やはりパブリックコースでやるべきだということで、若洲ゴルフリンクス、すぐ近くにあつていいじゃないかということをお願いしてきました。

現にブラジルのリオ大会でも、一度プライベートコースでオリンピックの会場は決まったけれども、やはりこれではゴルフの将来の普及につながらない、パブリックの誰でもできるゴルフ場を造ってやろうということでゴルフ会場を造ったわけですね。

さあ、そこで、丸川大臣、お伺いしますが、今予定されている霞ヶ関カンツリー倶楽部は、大臣、女性は正会員になれないって御存じでしたか。女性正会員になれないんです。女性がなれるのは、週日会員と家族会員。正会員のみがそのゴルフ場の運営を決める総会の議決権持っているんですね。ですから、女性は正会員になれないどころか、プライベートのカントリークラブの運営にも参加ができないという、ある意味で、言い過ぎかもしれませんが、女性に対して差別をした運営をしているカントリークラブなんです。その事実をまず知っていましたか。

○国務大臣（丸川珠代君） 知りませんでした。

○松沢成文君 ここで、もう一つ大変重要な話をします。一九九六年、アトランタ大会、オリンピックありました。そのときに、実は、アメリカでやりますから、ゴルフをどうしても競技に入れたい。このアトランタでやるんだから、ジョージア州のあのマスターズをやるオーガスタ・ナショナル・カントリークラブ、あんなすばらしいところがあるんだから、あそこでゴルフ競技をやりたいと提案したんです。

さあ、そのときの I O C 会長、サマランチさん、様々考えたんでしょう。しかし、それを承認しませんでした。

その最大の理由は、オーガスタ・ナショナルは世界に冠たるすばらしい伝統的なゴルフクラブであると、しかし女性を認めていない。つまり、女性を排除しているんですね。それから、それまで黒人も有色人種も入れていなかった、これはオリンピックの精神に反する。つまり、オリンピックというのは性別、人種、民族を超えてみんなが参加できる、その祭典にしなければ意味がないんだということで、世界一と言われているきれいで名門なオーガスタ・ナショナル、ここでや

るのは絶対に駄目だと言ったんです。私は、オリンピックの理念、精神をすばらしく反映した決断だったと思いますよ。

さあ、今回、霞ヶ関カンツリー倶楽部、まあオーガスタと一緒にとは言いません、人種の問題はありませんから。でも、女性が議決権を持たない、正会員になれない。つまり、女性の運営を差別している。私は霞ヶ関を非難するつもりはないんです。日本には結社の自由がありますから、霞ヶ関が、自分たちでお金を集めて、自分たちでクラブ運営するのはいいんです。しかし、オリンピックをやるべきではないんです。

オリンピックというのは全ての人が参加しなきゃいけない。特に最近では、女性も男性も全てのスポーツで参加しなきゃいけないと言っているんです。だから、ラグビーでもボクシングでも女性をつくっているんですよ。それなのに、ゴルフをやる競技場が、女性を排除している競技場でできるのか。私はこれは好ましくないとはいえますけれども、大臣はいかがお考えでしょうか。

○国務大臣(丸川珠代君) 東京大会における個々の競技会場の選定については、大会組織委員会の権限と責任で行われるものでありますので、残念ですが、私がお答えする立場にないことは御理解をいただきたいと思えます。

アトランタのその競技会場について当時のI O C会長が御判断されたということではありますが、競技会場は最終的にはI O Cの議決を経るものと理解をしておりますので、今回、霞ヶ関カンツリー倶楽部に決まるときもI O Cで了解を得ているものと理解をしております。

○松沢成文君 残念ながら、国際ゴルフ連盟もI O Cもこの事実知らないんです。こんなにいいクラブがありますよ、だからここでやりますよ、ああ、いいクラブですね、はいつてなったんですよ。

じゃ、四者協議やりますね、これから。I O Cの方も来ますね。その四者協議の場で、霞ヶ関はこうこう会員の運営としてこういうことになっている、アトランタのときと比べてどうでしょうかとI O Cに意見を聞いてみてください。いかがですか。

○国務大臣(丸川珠代君) 重ねて申し上げますが、競技会場をどう選定するかについては組織委員会とI O Cで御議論していただいておりますので、そのような意見があったことはお伝えしたいと思えます。

○松沢成文君 それを総合的に判断して、オリンピックとしていいのかどうか。そこをきちっと整理するのが大臣の役目じゃないですか。私の管轄じゃありませんからって、それは言えますけれども、私は知りません。これじゃ、オリンピック成功できませんよ、言っておきますけれども。

さあ、二点目行きます。

皆さん、このペーパー御覧になってください。大臣も見てください。これは、今ゴルフ会場になっている霞ヶ関カンツリー倶楽部と若洲ゴルフリンクス。私は、選手村のすぐそばにある東京都所有のパブリックコース、若洲ゴルフリンクス、

十分にオリンピックができます。倉本プロゴルフ協会会長も十分にできると太鼓判を押しています。さあ、その気温を調べたんですね。過去三年間調べました。過去じゃないや、今年と去年とおとしですから、この三年間を調べたんです。これは念のため言っておきますけれども、気象庁の観測所で一番この二つのゴルフ場に近いところの数字を取りました。

さあ、霞ヶ関カンツリー倶楽部、何と三十五度以上の日が、これ全部で三十日統計取っていますけど、二十二日あるんです。すごいですよ、これ、七〇%以上ですね。それに比べると、海の中にある若洲ゴルフリンクス、三十五度以上の日は一日しかありません。平均を見ても、このオリンピックをやる日の平均を見ても、何と四度も差があるんですね。風、ここが重要なんです。これ、若洲ゴルフリンクスはかなり風が吹いて、平均五・三六メートル。しかし、霞ヶ関は暑い上に風も吹かない、一・二九ですね。風が吹くと体感温度は下がりますから、選手もギャラリーもしのぎやすいんですね。

この数字を比べて、選手のコンディション、あるいはギャラリーの方のコンディション、観客の方ですね、これオリンピックの会場として、アスリートファースト、あるいはギャラリーファーストの視点から見るとどちらがふさわしいと思いますか。もう連日のように三十五度を超える、風も吹かない。恐らくこのままだと熱中症患者続出です。それに比べて、若洲ゴルフリンクスはかなり気温も低いし、風でしのぎやすい。さあ、アスリートファーストとしてどちらが好ましいと思いますか。

○国務大臣（丸川珠代君） 東京大会は、七月から九月の暑さが特に厳しい時期に開催され、我が国の夏の暑さに慣れていない多くの外国人や障害者の皆様への対策が重要だと考えております。ですので、七月から八月にかけて、内閣官房のオリパラ事務局の職員が施設管理者等の協力を得て、屋外の競技会場で観客等の多くが長時間日陰部分の少ない屋外に滞在することが想定される場所や、最寄り駅からの移動時間が長くなることが想定される霞ヶ関カンツリー倶楽部、江の島ヨットハーバー、有明地区の三か所で暑さ指数、WBGTの測定を行いました。これは、人体に与える影響の大きい湿度、日射等からの輻射熱、気温の三つを取り入れた指数で、熱中症のかかりやすさの参考とすることができる数字であります。

その結果、速報値としては、霞ヶ関カンツリー倶楽部において、有明、江の島と比較しても飛び抜けて高い値は出ませんでした、ほぼ同じような状況でございました。現在、専門家の意見を聞いて数値の有効性の確認を行っているところでありまして、近日中にこれを公表させていただき予定としております。

いずれにしても、競技会場における暑さ対策、また応急体制の整備、そして、特に暑さに慣れていない外国人の皆様に対して、熱中症の一般的な知識や暑さ対策グッズの紹介などの予防、対処方法について情報発信をしっかりと行うなど、大会の成功に向けて関係機関と連携して暑さ対策に取り組んでまいりたいと存じま

す。

○松沢成文君 どちらがふさわしいかという答えは全くありませんでしたけれども。

大臣、今日も、今朝も地震がありました。津波、どれぐらいの被害になっているか心配ですけれども、例えば地震だとか台風だとか豪雨というのはいつ来るか分からないわけです。だから、不可抗力ですね、これに対応するというのは。だから、オリンピックのこの期間だって来るかもしれませんよ。

しかし、猛暑というのは予測可能なんですよ。これ見てください。この三年間のデータ見て、もうこっち真っ黄色じゃないですか。連日三十五度を超えるんですよ。暑い日は三十六度、三十七度になるんですよ。ですから、日本一暑い季節に日本一暑い場所でなぜ屋外の競技を強行してやらなきゃいけないのか。これ、判断間違っているんですよ。そこに気付かなきゃ、大臣ならば。じゃないと、オリンピック成功できません。

というのは、まず、環境省も三十五度を超えると、運動に関する指針で運動は原則中止という指示を出しています。気象庁も高温注意情報ということで、三十五度以上に発表して熱中症の注意を呼びかけるんですね。そうすると、これ競技できなくなりますよ。それでも強行してやるんですか、環境省もやめろ、気象庁も危険だと言っているのに。そうすると、これ、どんどんどん、今日は暑過ぎてできません。

これ、選手はいいかもしれません、まだ鍛えていますから。ギャラリー一万人行くんですよ、ここに。ばったばたと熱中症で倒れますよ。救急車何台あっても足りません。強行できないという判断をせざるを得なくなると思いますよ、こういう場所を選んでいたら。そうなったら、閉会式までにゴルフ競技終わらないですよ。そういう意味で、大会が大失敗する可能性が大なんです。政治家だったら、そこをきちっと判断して、四者協議の中できちっとこれを言ってこの表を見せてください。このままやっいいんですかと、それが言えなければオリンピック成功できません。

今まで法則どおり決めてきましたからって、そればかりじゃないですか。でも、新国立どうですか。そのとおりにやってきて、最後、結局、このままやったらまずいという判断をそのときの下村文科大臣と安倍総理大臣がして、森組織委員長に、これはまずい、やり直す、いいねと言ったんですよ。その判断で今どうにか新国立は頑張っているわけでしょう。こういう大きな間違いがあるときは大臣がきちっと判断しなきゃ駄目だと思いますけれども、この気候の問題、じゃ、これで十分やっいけるんですね、ゴルフ競技場は。いかがでしょうか。

○国務大臣（丸川珠代君） まず、今ここでお示しいただいている気温でございますが、これ鳩山町の観測所でありまして、鳩山町というのは、東京ゴルフ倶楽部、済みません、これ向かいです、霞ヶ関カンツリーの向かいですけど、霞ヶ関カンツリーがある川越からですと、そこから日高を越えて、鶴ヶ島越えて、毛呂

越えて、毛呂山ですね、毛呂山町、その先が鳩山町なんです。町四つぐらい先の地域の気温でございます。

一方、若洲ゴルフリンクスの方の、この江戸川の方ののですが、これ、実際に江戸川の臨海観測所があるのは葛西臨海公園のところでございます、若洲とは風向も違いますし、周りにこれ天然の浜もありますので環境が違いますので、やはり実測をすることが必要ではないかということも言えるわけでございます。

それから、ゴルフ競技というのは大体四時間ぐらいで終わりますので、開始時間をどのようにセットするかということによって、一日中この最高気温で移行しているわけではありませぬので、こうしたスポーツができない時間帯を外すという設定ができます。

○松沢成文君 それをやるのも大変ですけどね。朝、電車がないうすよ、早朝からやろうとしても。

そこで、今度、今日の読売新聞に、「五輪施設・警備一・二兆円」という記事がどおんと出ておりました。さあ、その中で、高速道路の通行制限に高速道路会社への補填費百七十四億円などが加わり、これがどおんと増えてきていると、交通費がね。そういう情報がございました。

さあ、この高速道路オリンピック専用レーンを使って、そこで損害は補填するという形を取るということで、これでほぼ明確になっているんですけども、これをやる競技は何と何でしょうか。恐らくボートの競技はこの対象には当時は入っていませんからね。そうなりますと、ゴルフ、最も大きな対象になると思いませんけれども、それはいかがでしょうか。

○委員長（赤池誠章君） 時間が来てまいっておりますので、簡潔にまとめてお答えをいただきたいと思ひます。

○政府参考人（芦立訓君） ゴルフは、一点、招致ファイルに書いてあるところでございます。それにゴルフは書いてあります。それ以外には、例えば都内の移動などにつまましてオリンピックレーンを使用すると、かような内容で立候補ファイルに記載されているところでございます。

○委員長（赤池誠章君） それでは松沢委員、時間が来てまいりますので、おまとめください。

○松沢成文君 はい。

質問は終わりますけれども、是非とも早く、I O Cに報告する前に国会にオリンピックの開催経費を提示していただきたいというふうに思ひますので、改めてお願いをしておきます。